



平成 27 年 2 月 11 日(水)、甘楽町小幡にある株式会社ヨコオデリーフーズ本社・営業本部を訪問し視察研修会を実施しました。対応してくれたのは、田村昌史取締役本部長、人事・総務部 情報システム こんにやくパーク長の猪谷清吾部長。工場内を見学したのち、会議室でお二人から経営内容の詳細説明を受け質疑応答を行いました。

当社は昭和 43 年創業で、こんにやく製品の製造と、全国(一部海外輸出)への販売を行い、商品アイテム数 400、売上高 80 億円、従業員 200 名(平成 27 年度見込)、社員の平均年齢 26 歳という成長過程にある群馬県を代表する企業のひとつです。

特に衛生管理では国際的な食品安全マネジメントシステム規格 FSSC22000、世界品質マネジメントシステム規格 ISO9001 の認証を取得しており、品質検査も自社検査機関により 15 分毎の抜き取り検査を行うなど、徹底した管理が行われています。

環境へのとりくみでも、太陽光パネルを設置し、工場で使用される約 15%の電力は太陽光エネルギーでまかなわれています。使用燃料は全て液化天然ガス(LNG)。甘楽工場の排水は、1 日 960t の処理能力もつ設備により管理され、クリーンな水として排出されています。

また、原料となるこんにやく芋・粉は、全量群馬県産を使用しており、地域に密着した事業を展開しています。

質疑応答では、視察に参加した 12 名の協会会員から質問が続出し、予定の時間を超過するほどでしたが、お二人から丁寧な説明をいただき、有意義な研修会となりました。



こんにやくパーク内を案内していただいた田村昌史取締役本部長(右)と猪谷清吾こんにやくパーク長(左)



工場内の加工作業の様子